気象研究コンソーシアムデータ（高分解能雲情報）の内容

1. 提供データの内容
ひまわり 8 号によるフルディスク観測データや数値予報データから得られた雲に関するプロダクト。

2. データフォーマット
フラットバイナリ形式（ビッグエンディアン）

3. 算出領域
北緯 60 度～南緯 60 度　（0.04 度間隔 3001 格子点）
東経 80 度～西経 160 度　（0.04 度間隔 3001 格子点）

4. 算出頻度
1 時間ごと

5. 要素一覧（1 バイト整数）
(1) 雲の有無（ダストの有無を含む）

	データなし	雲なし	雲混じり	雲あり
ダストなし	−1	0	1	2
ダストあり		3	4	5

(2) 雪氷の有無

データなし	雪氷域なし	雪氷域あり
−1	0	11

(3) 雲の厚さ及び高さ

データなし	雲なし	不透明な雲						
		非常に高い	高い	やや高い中層	やや低い中層	低い	非常に低い	極めて低い
−128	0	1	2	3	4	5	6	7

半透明な雲							断片的な雲
非常に高い	高い	やや高い中層	やや低い中層	低い	非常に低い	極めて低い	
8	9	10	11	12	13	14	15

(4) 雲粒の相

データなし	雲なし	氷雲	水雲	氷雲と水雲の混合
−128	0	1	2	3

(5) 雲型

データなし	雲なし	積乱雲	半透明上層雲	中層雲	積雲	層積雲	層雲／霧	不透明上層雲
−1	0	1	2	3	4	5	6	7

（6）雲頂高度（100m 単位）

データなし	雲頂高度			
	0 m	100 m	…	25,400 m
−128	−127	−126	…	127

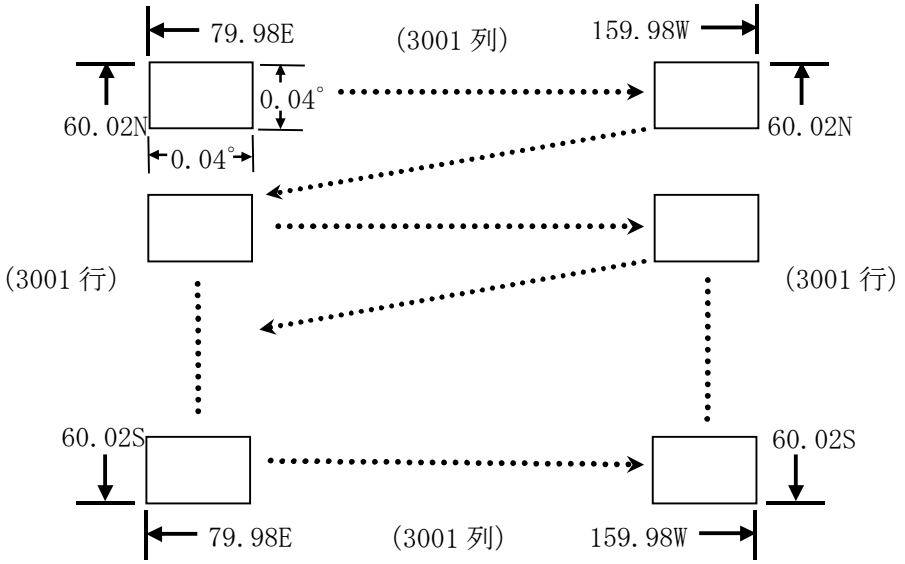
（7）品質情報

①品質フラグの有効性	有効	0	無効	1
②太陽の影響による品質低下	可能性なし	0	可能性あり	1
③月の影響による品質低下	可能性なし	0	可能性あり	1
④太陽校正運用	実施なし	0	実施中	1
⑤食運用	実施なし	0	実施中	1
⑥雲の有無の品質	高品質	0	低品質	1
⑦雲型の品質	高品質	0	低品質	1
⑧雲頂高度の品質	高品質	0	低品質	1

①から順に、ビット並びの右から 1 ビットごとに 0 または 1 で表現します。

6. 格子系の定義

高分解能雲情報は等緯度経度間隔の格子資料です。北西端の格子資料を先頭に東端まで格納され、更に順次 1 格子南側の西端から東端まで連続して格納され､最後に南東端の格子資料が格納されています。詳細は以下の通りです。



7. ファイル名及びデータ量

一観測（1 時間）あたり 11.5MB 程度（gzip 圧縮後）

（1 ファイルあたり）

（1）雲の有無　　: yyyyMMddhhmmss_hcai_cons_cmsk.dat.gz, 約 1.0 MB
（2）雪氷の有無　　: yyyyMMddhhmmss_hcai_cons_snow.dat.gz, 約 0.1 MB
（3）雲の厚さ及び高さ : yyyyMMddhhmmss_ctph_cons_ctyp.dat.gz, 約 1.5MB
（4）雲粒の相　　: yyyyMMddhhmmss_ctph_cons_cphs.dat.gz, 約 1.0MB
（5）雲型　　: yyyyMMddhhmmss_hcai_cons_ctyp.dat.gz, 約 1.5 MB
（6）雲頂高度　　: yyyyMMddhhmmss_hcai_cons_ctth.dat.gz, 約 5.0MB
（7）品質情報　　: yyyyMMddhhmmss_hcai_cons_qflg.dat.gz, 約 1.5 MB

（注）yyyyMMddhhmmss は、情報の年月日時分秒を UTC（協定世界時）で表しています。